

科目名	AI・ロボット概論						
Course Name	Introduction to AI and Robot						
年次	1	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	亀田和則 小林大輔						
連絡先(質問等)	講義棟 2 階の研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2 DP4 DP5						
授業の概要と到達目標	<p>「AI を日本語にすると何ですか?」という質問に対して、大半の人が「人工知能」と即答できるだろう。では、「AI は何ができるの?」という質問に対して、「〇〇〇ができる」と即答できる人は少ないだろう。この授業は AI が進化してきた背景や現在の AI テクノロジーを学習し、さらに AI とロボットが融合することでこれまでにない新しい価値観が生まれることを学習する。</p> <p>①AI と職の関係を説明できるようにする。 ②文系の AI 人材について説明できるようにする。  ③AI の学習方法に「教師あり」「教師なし」があり、それぞれの特徴を説明できるようにする。  ④AI の作り方をザックリ説明できるようにする。  ⑤仕事量を減らす・売上げを伸ばすための AI 企画を提案できるようにする。  ⑥AI の事例を説明できるようにする。</p>						
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●先生が用意するプリントで授業を行う。</li> <li>●事後学習の一環として「わかったこと、わからないこと」を授業シートで提出する(成績評価に含めない)。</li> <li>●理解を深めるために演習時間を設ける。</li> <li>●理解度の確認を2回、企画提案を1回、定期試験も実施する。</li> </ul>						
学習成果	L01						
	L02	AI と職の関係、社会に求められている AI 人材を説明することができる。					
	L03	AI の学習方法、作り方について説明、AI 企画の提案をすることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	理解度の確認の採点結果、企画提案の採点結果をフィードバックする						
教科書/参考図書	プリントを配布する。						
履修上の留意点やルール等	専門用語がたくさん出てくるので、授業の前までにそれらの意味をネットで調べる。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	AI 企画の提案が該当する。満点となる条件は、「企画した理由が明確であり、わかりやすく好奇心をかきたてる」である。提案しない場合、0 点である。			10	
発表					
小テスト	理解度の確認2回が該当する。満点となる条件は、「穴埋め問題がすべて正解」である。		20		
試験	定期試験が該当する。満点となる条件は、授業にて連絡する。			70	
その他					
合計			20	80	

回数		授業計画
1	授業内容	〈第1章 AI 社会で職を失わないために〉 「AI 失職」を恐れず「AI 職」に就く準備 「AI との共働き」スキルを身につけよう
	事前・事後学習	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
2	授業内容	〈第1章 AI 社会で職を失わないために〉 5つの「共働きスタイル」
	事前・事後学習	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
3	授業内容	〈第2章 文系のための AI キャリア〉 AI は「作る」から「使う」へ 上手に活用する「文系 AI 人材」が重要に
	事前・事後学習	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
4	授業内容	〈第2章 文系のための AI キャリア〉 「文系 AI 人材」の仕事内容とは? 「文系 AI 人材」になるための4つのステップ
	事前・事後学習	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
5	授業内容	理解度の確認1・2 次の授業で結果をフィードバックする
	事前・事後学習	事前:理解度の確認に関する準備 事後:理解度の確認でわからなかったことを復習する
6	授業内容	理解度の確認の結果をフィードバックする 〈第3章【STEP①】 AI のキホンは丸暗記で済みます〉 AI/機械学習/ディープラーニングの違い 学習方式の3分類——教師あり/教師なし/強化学習 活用タイプ別 AI は4×2=8分類
	事前・事後学習	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
7	授業内容	〈第3章【STEP①】 AI のキホンは丸暗記で済みます〉 AI/機械学習/ディープラーニングの違い 学習方式の3分類——教師あり/教師なし/強化学習 活用タイプ別 AI は4×2=8分類 「識別系 AI」「予測系 AI」「会話系 AI」「実行系 AI」
	事前・事後学習	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する 出る順で AI 基礎用語を丸暗記する
8	授業内容	〈第4章【STEP②】AI の作り方をザックリ理解する〉 〇〇系 AI 毎に作り方が異なる
	事前・事後学習	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
9	授業内容	簡単な AI を作る
	事前・事後学習	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
10	授業内容	〈第5章【STEP③】AI 企画力を磨く〉 AI 企画の「100 本ノック」 「変化量と実現性」を担保する

		AI 企画の「解像度を上げる5W1H
	<b>事前・事後学習</b>	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
11	<b>授業内容</b>	みんなで AI 企画を考える(これまでに学習したことを生かす) 課題提出
	<b>事前・事後学習</b>	事前:AI 企画を考えてくる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
12	<b>授業内容</b>	<第6章【STEP④】AI 事例をトコトコ知る> 業種別×活用タイプ別の45事例
	<b>事前・事後学習</b>	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
13	<b>授業内容</b>	AI とロボットの関係
	<b>事前・事後学習</b>	事前:授業の前までに、わからない専門用語の意味をネットで調べる 事後:わかったこと、わからないこと授業シートに記入する
14	<b>授業内容</b>	理解度の確認3・4・5・6 次の授業で結果をフィードバックする
	<b>事前・事後学習</b>	事前:理解度の確認に関する準備 事後:理解度の確認でわからなかったことを復習する
15	<b>授業内容</b>	理解度の確認の結果をフィードバックする 定期試験を受ける前のまとめ(定期試験に理解度の確認の内容も含める)
	<b>事前・事後学習</b>	事前:これでの学習内容のまとめ 事後:これまでの学習を振り返り、わかったこと、わからないこと授業シートに記入する